

TAKE  
FREE



「はい」「さっさとつたい何なのよ?」

寤寐五靡

いまさらだけど……

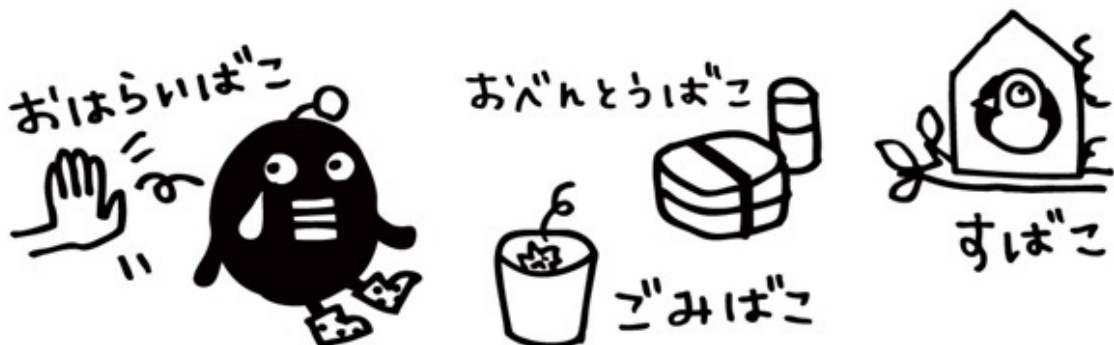


10

<http://yukie5e.web.fc2.com/>

## 東西箱馬鹿箱談義、からのハコガカひとり箱談義

HAKOBAKAにやってきてくれる人たちの中には「私も箱が好きなんです」「僕も箱馬鹿なんです」と言う方がいらっしゃいます。中でも HAKOBAKA 代表が認める「箱馬鹿」さんこと T さん、関東にお住まいだというのに年に何度もお会いします。で、はじまるんです東西箱馬鹿による箱談義が……よくもまあそんなに箱の話ばかりできるもんだわねと思いつつ、ちょいちょい話に混ぜてもらおうのですが、その話の中で「筒って箱なのか?」「ひきだしって……箱なのか?」「そもそも箱の定義ってなに?」etc……とりとめない話が出て来たわけです。辞書好きの私としてはちょっと調べたくなるわけでした。愛用の新村出編(2008)『広辞苑』第六版, 岩波書店、そして新たに買った iPad アプリの新漢語林 MX, 大修館書店でいろいろ調べてみたのです。まあそれでスカッとわかるわけでもないのですが、何かの手がかりにはなるかなあと考えています。調べたこと、思ったことなど細かくは HAKOBAKA 企画展「はこのはじまりのはじまり」に展示しているのですが、このごびごびにもちょっと書いて残しておくことにしました。今はまだモヤモヤのままですが、ある日ふと「そういうことか〜」という日も来るかもしれない。来ないかもしれない。一つの言葉や一つの漢字がさまざまな意味を持ち、年月と共に変化していく世の中だから、「正解」があるわけではないんだろうけど。ちょっと掘り下げてみるのも楽しいのではないのでしょうか? 身近にあるはこたちを眺めながら、「これはホントにはこなのか?」なんて考えてみるのもたまにはよい。ハコガカによるごびごびひとり箱談義、はじまりはじまり〜



広辞苑で調べてみた。

## はこ【箱・函・筥・匣・筐】



- 1：物を納めておく器。普通、角形で木・紙・竹などで作る。
- 2：便所で糞を受ける箱。おまる。
- 3：転じて(人の)糞。
- 4：鉄箱(ハサミバコ)の略。
- 5：三味線を入れる箱。転じて三味線。また、三味線を入れた箱を持って芸者に従って行く男。はこや。
- 6：牛車の屋形。車箱。また、鉄道車両の車室やエレベーターのケージ。
- 7：(東北地方で)岩壁で囲まれた渓谷の一部。
- 8：(“箱入り”の略)とっておきの芸。得意芸。おはこ。

新村出編(2008)『広辞苑』第六版, 岩波書店。

思いの外、いろんな漢字、そしていろんな意味があることに驚く。8種類ある意味の中で HAKOBAKA が扱っているのは1番のはこ。まあ、2から8までの意味は、1番の意味がまずあってこそ生まれた意味とも言えるので、今回は1番の意味のみで考えていきたい。まず、「物を納めておく器」とある。つまり「はこ」は「うつわ」の中の一つであると考えられる。そして「中に物を納める」ために存在するようである。そして素材は限定されていない。木でも紙でも竹でもよいようだ。もちろん金属やプラスチックであってもよいのであろう。そして注目すべきは「普通、角形で」という部分。HAKOBAKA 中井は箱の条件は何かと聞かれた時に「うーん、四角いってことじゃないですかねえ〜」と答えていた。自分は四角くない箱を作りながら。あながちウソではなかったということだ。「普通」と書かれているので、暗に「例外もあるぞ」ということが含まれているのであろう。しかし、純粹には四角いものなだとまず考えたい。そういえば神奈川県南西部にある「箱根」という地名は「箱」と「嶺」で「箱型の嶺」「箱型の山」というところからきているらしいと聞いたことがある。山の斜面が崖のように落ちている姿は四角く見え、「箱のようだ」と捉えられたのだろうか。積み木のように中に物を入れる空間がない四角いものに対しても「箱」というイメージはついてくる。箱の用途が多様化しているからこそ、箱の形の基準というものがあってもよいような気がする。しかしそれで箱の範囲を狭くするのも面白くない。結局のところ、曖昧な「箱といえば箱かなあ」という部分が必要なのかもしれぬ。



# 箱

最もよく使われる「はこ」を表す漢字。竹冠に「相」。この「相」は「倉」に通じるらしく、「しまう」という意味をもっているようだ。「物を入れる竹製のはこ」が元と思われる。大きな意味で「モノがしまえる空間」さえあればこの「箱」と捉えてもいいのかな？



# 函

「矢袋に矢が入れている」という状態の象形なのだそうだ。「含む」という意味のようだが元々が「袋」というのが面白い。「はこ」というより「いれもの」や「包むもの」という意味が強いような気がする。

# 筥

竹冠に「呂」。「呂」はつらねるの意味があり、積み重ねられた米などを入れる竹かごを表しているよう。「はこ」というより「かご」。しかもまるいもの。着物の女性が懐に入れる装飾具「筥迫(はこせこ)」の「はこ」はこの漢字。確かにまるみをおびてはいる。

# 匣

はこの中に亀のこの象形「甲」が入っている。中のものを亀の甲のように覆い隠すといった意味を持っているようだ。蓋付きの小箱、手箱、櫃の意味があるらしい。「パンドラの匣」「魍魎の匣」など、小説のタイトルに使われている。「覆い隠す」という不穏な雰囲気がいのかもしない。



# 筐

竹冠に「匡」。「匡」はまげるの意味で、竹などをまげて作ったはこを表しているようだ。はこよりもかごに近いらしい。「筐」はまるいが、こちらは四角いのだそうだ。「筐」よりもはこに近い感じがする。



# 筩

竹冠に「司」。「司」は治める・秩序づけるの意味で衣服を整理しておくための竹製のはこを表しているようだ。単純に物を入れるためというだけでなく「整理する」「秩序づける」という要素が加わる。箆筒(たんす)の「筒」だものね。

\* 腹筒(フクシ): 学問の素養。箆筒(ウンチク)。腹中の本箱の意。

↑「筒」じゃなくて「腹」の中にあるってのがいいね。

はこを表す部首に「尪」。「尪」はおさめるという意味があるらしい。小物をおさめる小箱を表しているようで、転じて嫁入り道具の意味も持つそうだ。なかなか使われない漢字。

# 奩

はこを表す部首に「非」。「非」はふたつに分かれるという意味があるらしい。はこだとフタとミに分かれるものを指すようだ。しかし否定の意味で使われることの方が多く、はこという意味ではなかなか使われていない。

# 匪

びつと箱の中に入るとは思っただよ。



# 篋

竹冠にはこを意味する「匸」、挟むを意味する「夾」。書類などをはさんで片付ける箱を意味しているようだ。竹製のはさんでしまう箱、どんなものだろう？ 挟箱の原型のようなものだろうか？

\* 篋扇(キョウセン): 箱の中に収められて使わなくなったおうぎ。転じて、男性に捨てられた女性。

<はこの意味を持つ漢字>

# はこにもいろいろあるみたい。



<はこなんだか、はこじゃないんだか？>

\* 印籠(インロウ): 四角を丸くした長方形の携帯小箱。もとは印や印内を入れたが、江戸時代には薬類を入れた。

# 籠

竹冠に「龍」。「龍」はつめこむという意味をもっているそう。竹や藤など線状のもので編んだり組んだりして作った器とのこと。機能を考えるととはこと重なる部分はあるだろう。

→「籠」と言いつつ「箱」なんだね。

「四つの口」は祭器が並べられた形で、「大」はいけにえの犬を表しているそう。祭に用いられるうつわが元になっており、物をいれるもの全般をさすようになったようだ。はこは器のうちの一つの形と考えられる。

木偏に「監」。「監」は見張るといいう意味をもっている。猛獣や罪人を入れて監視するためのものということでその形に対しては特にまっぴいようだ。もちろん「はこ」である場合もあるのだろう。

# 筒

竹の茎部分の形が元になっているようだ。円く中空になったもの。底や蓋があることは条件ではないのではこではないと言えそう。しかし、底や蓋をつけ「物をしまう」ことができる機能が生まれた場合、それはやはり箱と言えるのかもしれない。

「貴いものを入れる木のはこ」ということから、蓋のついた大きな箱を意味するようになったそうだ。「貴いもの」なので「蓋をつける」という考えは面白い。

木偏に「官」。「官」はかこうという意味をもっているそう。死体をつつみかこい、おさめて葬るための箱の意味。この「棺」の外箱は「槨」というらしい。

# 棺



# 桶



# 器

# いれもの

「入れ物」または「容れ物」。言葉の通り「物を入れるもの」。器と同じ意味を持っている。「棺」の忌言葉としても使われているようだ。

# 槽

木偏に「曹」。「曹」は向きあうという意味で、向きあう二対の面がある方形・長方形のおけの意味を表すそう。これは形状的にかなりはこ重なるのではないか。しかし「はこ」ではなく「おけ」と書かれている。なぜか。

# 櫃

木偏に「甬」。「甬」は中が空洞になっている鐘の柄の象形だそうで、木でできた中が空洞の器の意味を持つようだ。木の板を縦に並べ円筒状の側をつくり、底をつけ、たがで締めたものが元となっているそう。水などを入れるために使われることが多い気がする。

# 檻

「引出し」または「抽出し」。「抽斗」とも書くようだ。意味は「机・箆筒などに取りつけて抜き差しのできるように造った箱」と書かれていた。「箱」なのだ。しかし、引出しを引出した後に残るものはたして箱なのか？

こんにちは。HAKOBAKA のハコガカ・オノユキエです。

「HAKOBAKA」の中にいながら「ハコバカではなくハコガカだ」と名の名の私は、その名の通り、馬鹿がつくほどの箱好きではない。箱を見ているより、絵を見ている方が好きなのである。そんな私が改めて「はこ」って何なのよ？と掘り下げてみた訳だ。こういう風に文字から意味を探って行ったりするには、代表・中井より私の方が向いているんじゃないかと密かに思っている。客観的に見ることに對して「箱愛」はきっと邪魔になるのである。わはは。とはいえちょっと辞書で調べた程度で完全に「わかる」なんてものは世の中に存在しない。「はこ」についても結局謎なままだ。私がウダウダ調べたものを見ながら、「箱愛」を持った人にさらに考え込んでもらいたい。そしてさらに「箱愛」を深めてもらいたい。

ハコガカ・オノユキエ

### まだまだいろいろ募集！

- ・「ごびごび」をうちの棚に置いとくよっという方！置いて下さい。  
(四つ折り作業もするよ！という優しい方、さらに募集。)
- ・なにか手伝わせてっという方！なにかおねがいしたいと思います。
- ・フリーペーパーらしく、広告募集！お値段は要相談。  
まずは生ビール1杯から。
- ・「ごびごび」の宣伝隊長募集！「こんなん知ってるう〜？」と会う人にいちいち宣伝してください。
- ・お仕事募集。イラスト描きます。デザインします。

編集・発行・企画・デザイン・イラストレーション ハコガカ オノユキエ  
協力 HAKOBAKA

不定期発行・ハコガカ通信「ごびごび」

第10号 2011年5月19日